

# 貸借対照表の概要



(百万円、下段は構成比)

	2019年3月末	2020年3月末	2020年12月末	増減 (9ヶ月間)	主な増減要因	
流動資産	206,268 (57.7%)	216,269 (58.7%)	198,875 (56.4%)	<b>▲</b> 17,394	受取手形・未収入金等 ▲39,503	
固定資産	151,002 (42.3%)	152,212 (41.3%)	153,800 (43.6%)	+1,588	投資有価証券 +4,678	
資産合計	357,271 (100.0%)	368,482 (100.0%)	352,675 (100.0%)	▲15,806		
流動負債	142,144 (39.8%)	142,723 (38.7%)	121,266 (34.4%)	▲21,456	支払手形・工事未払金等 ▲32,296	
固定負債	32,949 (9.2%)	28,316 (7.7%)	24,187 (6.9%)	<b>▲</b> 4,129	退職給付に係る負債 ▲2,652	
負債合計	175,094 (49.0%)	171,039 (46.4%)	145,453 (41.2%)	▲25,585		
純資産合計	182,176 (51.0%)	197,442 (53.6%)	207,221 (58.8%)	+9,779	利益剰余金 +6,746	
負債純資産合計	357,271 (100.0%)	368,482 (100.0%)	352,675 (100.0%)	<b>▲</b> 15,806		

# 2020年3月期 損益計算書の概要

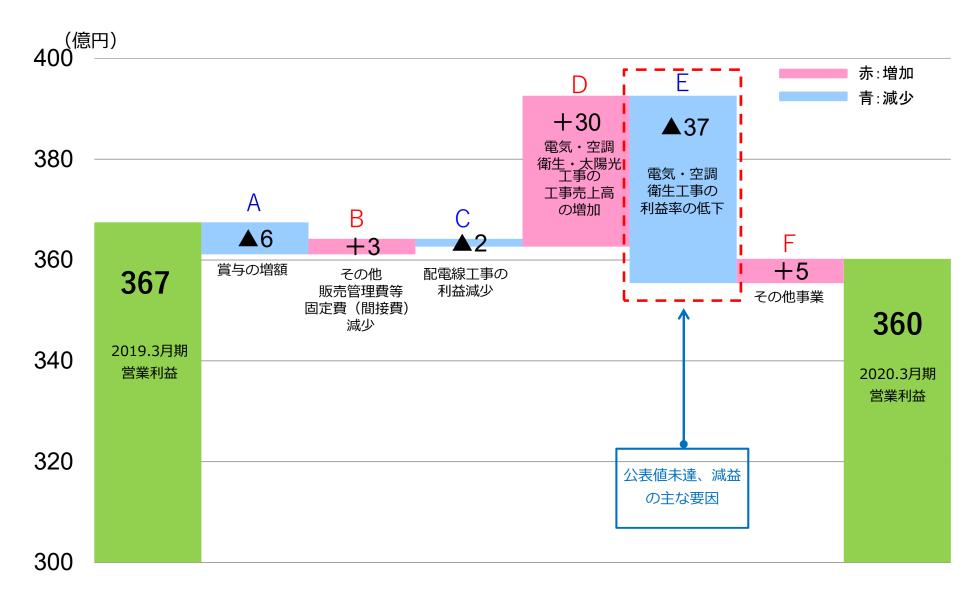


(百万円、下段は構成比)

	2019年3月期	2020年3月期				
	2019年3月期	実 績	前年比	計画(2019.4.26)	計画比	
売上高	408,143 (100.0%)	428,939 (100.0%)	105.1%	418,000 (100.0%)	102.6%	
売上総利益	60,561 (14.8%)	60,093 (14.0%)	99.2%	62,700 (15.0%)	95.8%	
営業利益	36,747 (9.0%)	36,022 (8.4%)	98.0%	38,000 (9.1%)	94.8%	
経常利益	39,924 (9.8%)	38,643 (9.0%)	96.8%	40,700 (9.7%)	94.9%	
親会社株主に帰属する当期純利益	26,691 (6.5%)	26,245 (6.1%)	98.3%	27,200 (6.5%)	96.5%	
一株当たり 当期純利益	375.17円		370.00円		382.31円	

## 営業利益増減要因 2020年 3 月期 通期





# 2021年3月期第3四半期末 損益計算書の概要

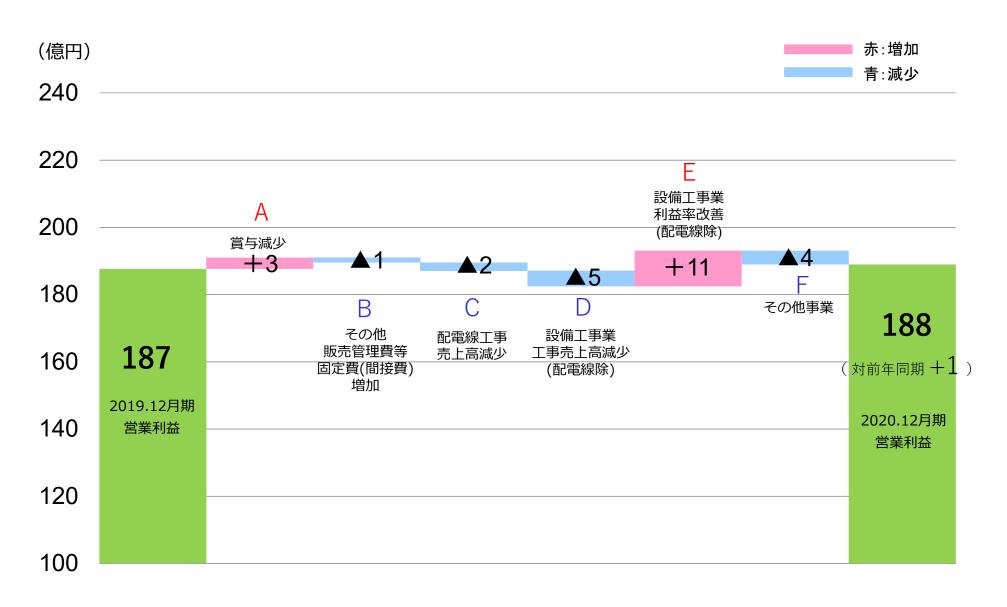


(百万円、下段は構成比)

	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期	月増減
	第3四半期末	第3四半期末	増 減	前年比
売上高	279,872 (100.0%)	266,597 (100.0%)	△13,274	95.3%
売上総利益	36,816 (13.2%)	36,863 (13.8%)	+47	100.1%
営業利益	18,761 (6.7%)	18,898 (7.1%)	+137	100.7%
経常利益	21,057 (7.5%)	20 <b>,</b> 940 (7.9%)	△117	99.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,319 (5.1%)	13,845 (5.2%)	△473	96.7%
一株当たり 四半期純利益	201.80円	195.43円		-

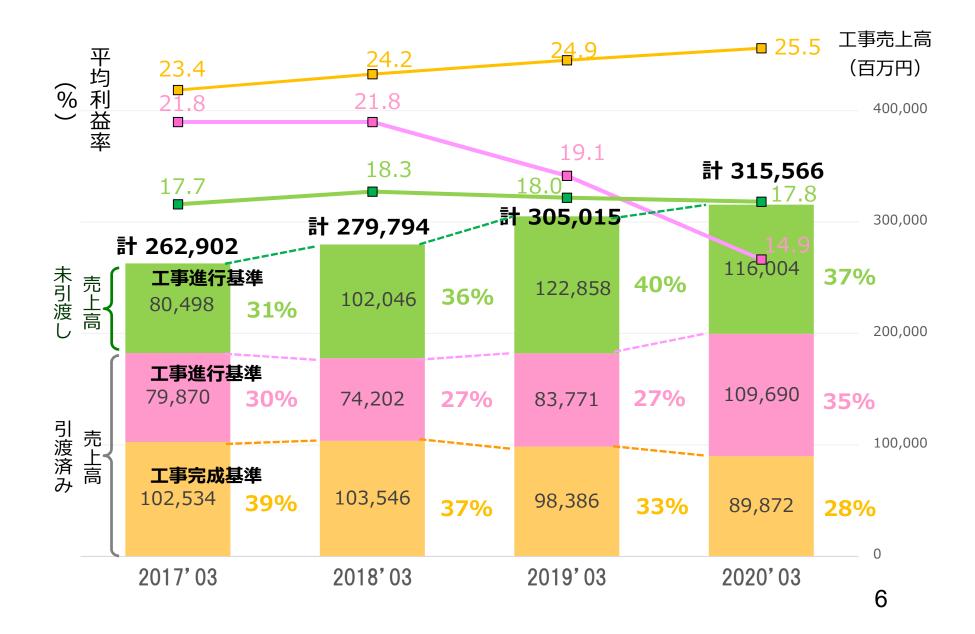
#### 営業利益増減要因 2021年 3 月期 第 3 四 半 期末





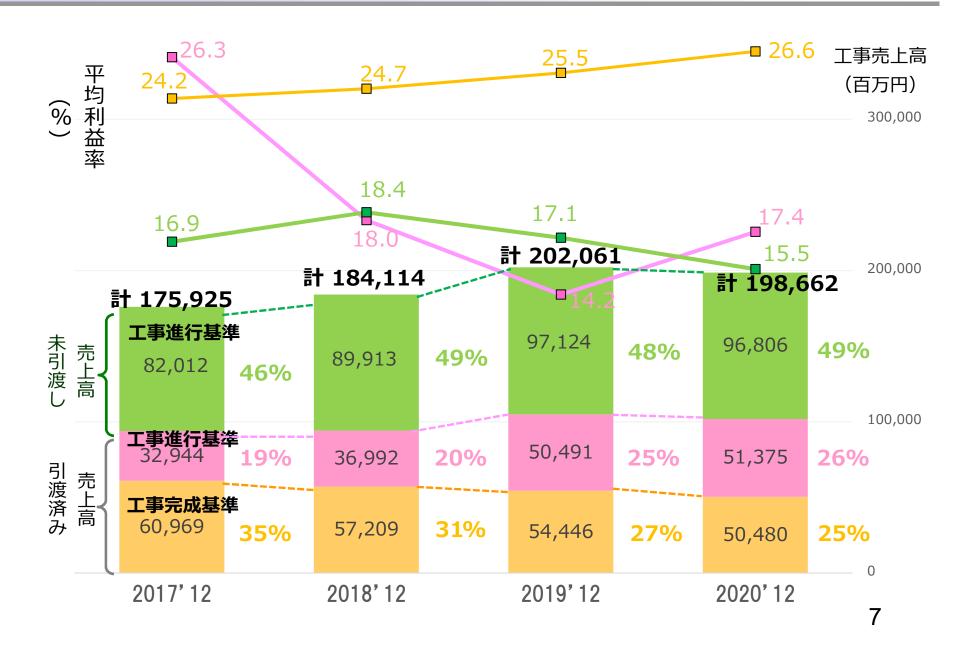
#### 工事売上高・平均利益率の内訳 2020年3月期 通期 (九電工単体:配電線除く)



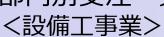


#### 工事売上高・平均利益率の内訳 2021年3月期 第3四半期末 (九電工単体:配電線除く)

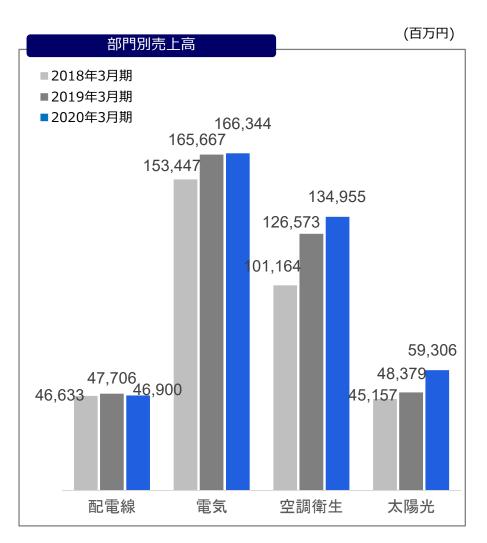


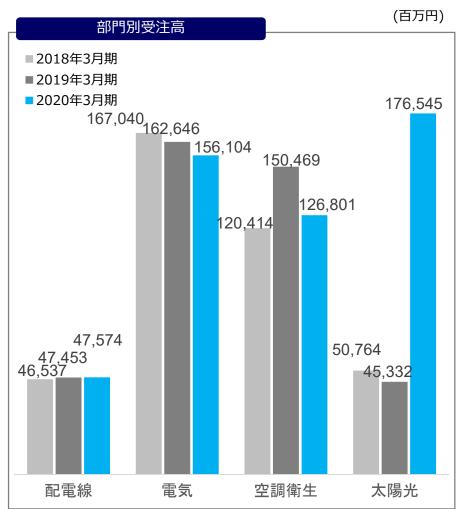


# 部門別受注・売上の状況 2020年3月期 通期







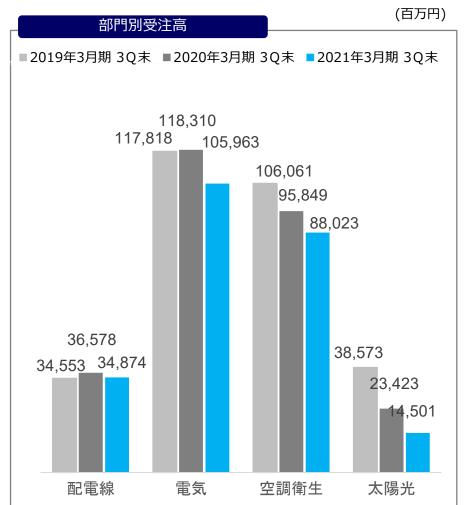


# 部門別受注・売上の状況 2021年3月期 第3四半期末



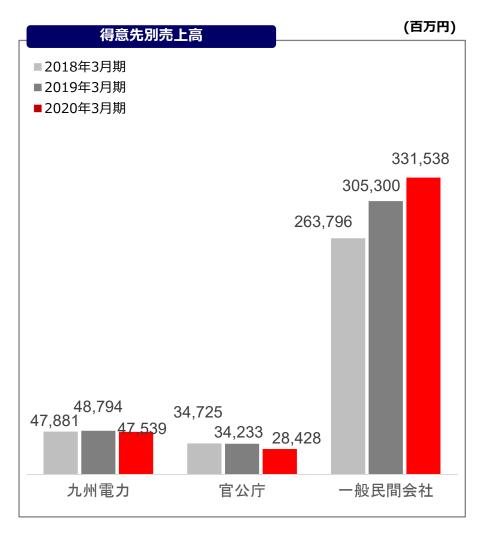
<設備工事業>

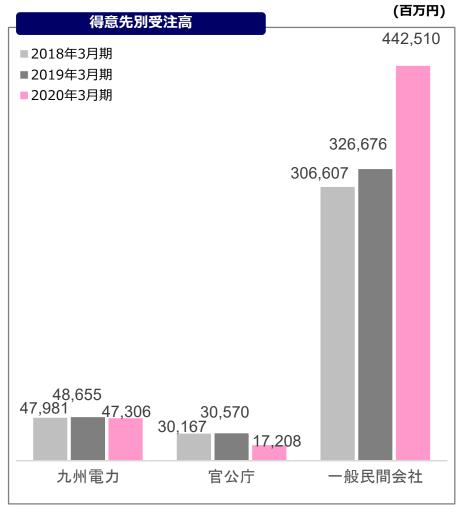




## 得意先別受注・売上の状況 2020年3月期 通期 〈設備工事業〉

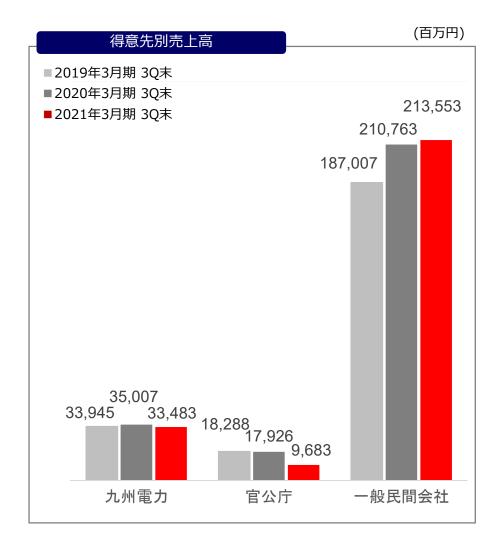


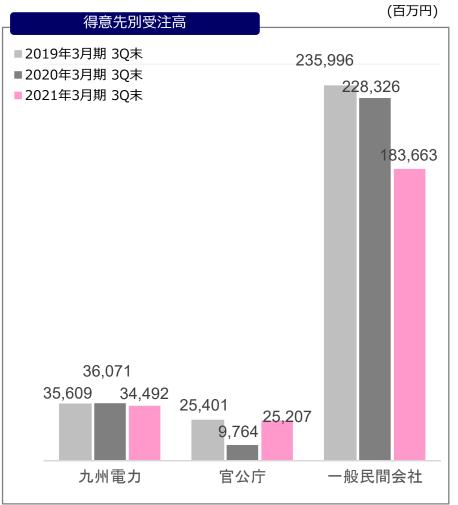




## 得意先別受注・売上の状況 2021年3月期 第3四半期末 <設備工事業>

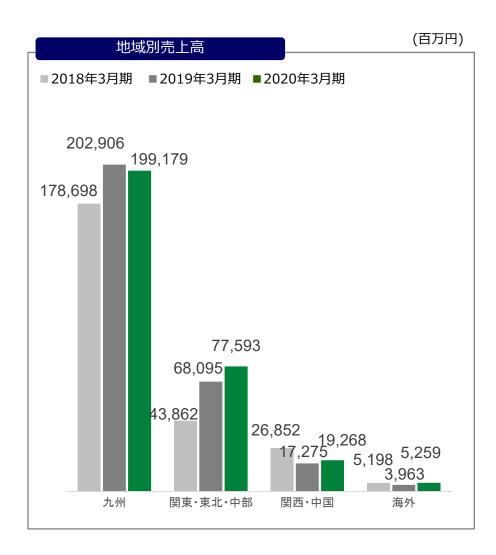


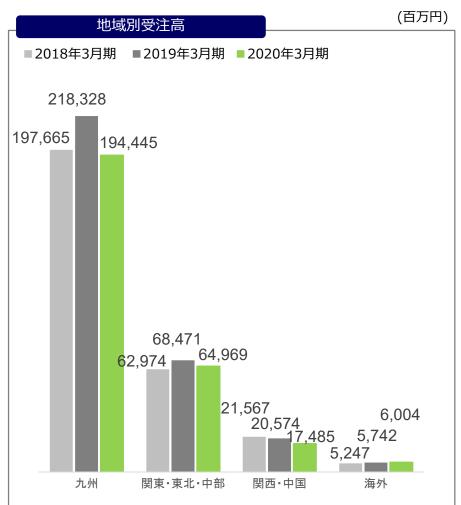




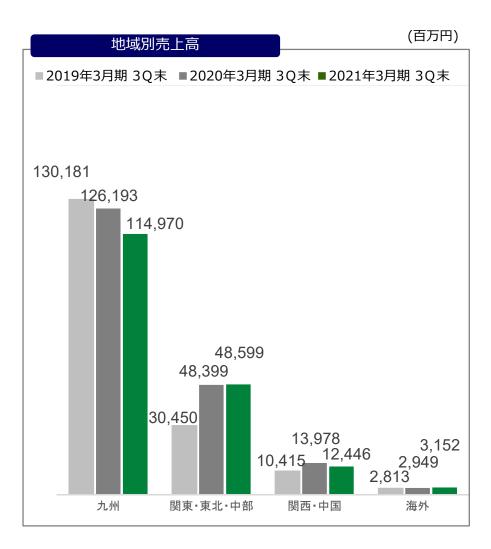
# 地域別受注・売上の状況 2020年3月期 通期 (太陽光発電工事を除く電気・空調衛生工事)

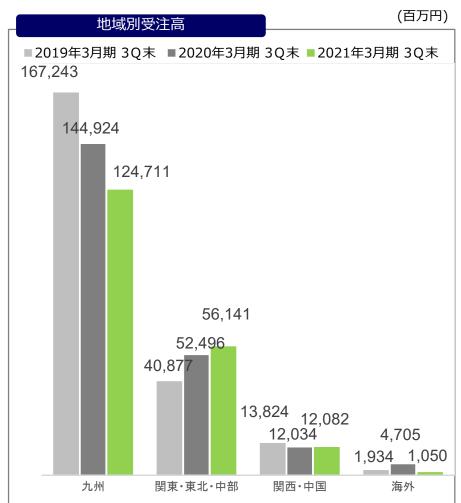






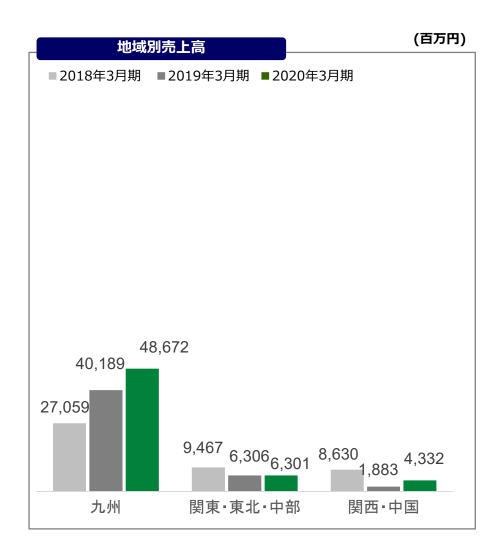


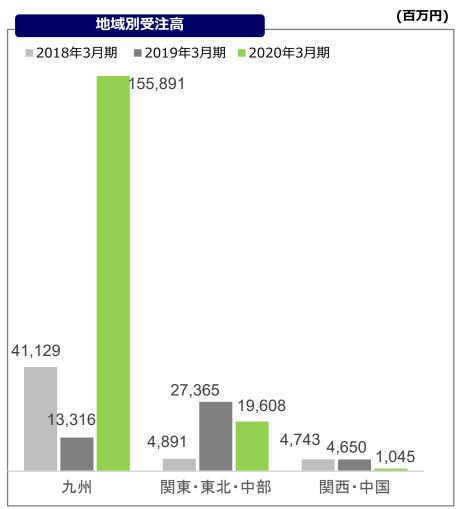




#### 地域別受注・売上の状況 2020年3月期 通期 (太陽光発電工事)

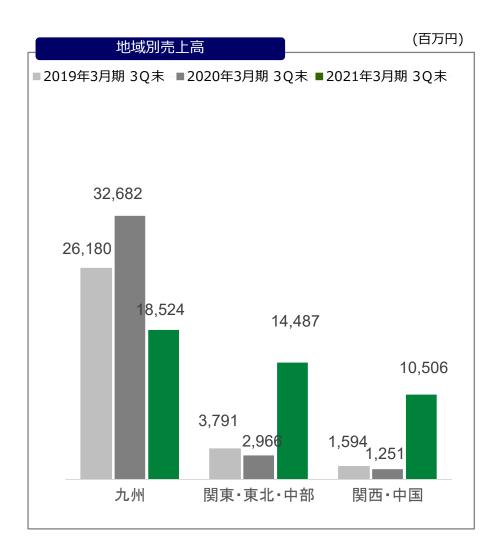


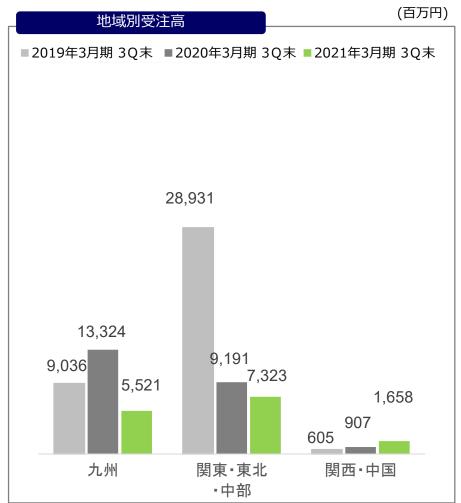




#### 地域別受注・売上の状況 2021年3月期 第3四半期 (太陽光発電工事)

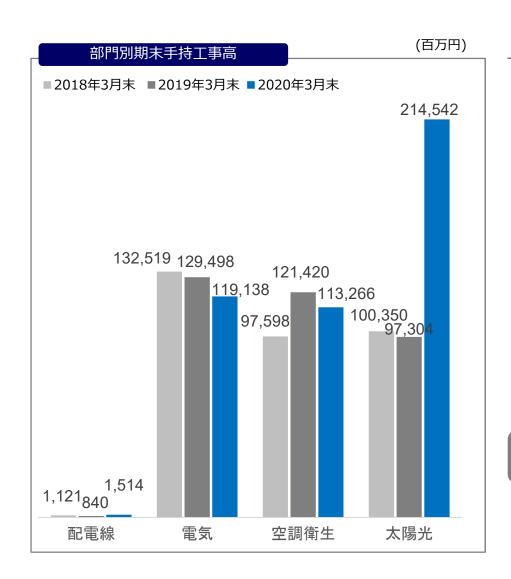






#### 期末手持工事高の状況 2020年3月末 〈設備工事業〉



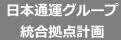


#### 主な受注案件(2020年3月末 手持工事)

- ・ (仮称)旧大名小学校跡地活用事業
- ・ 三井不動産ロジスティクスパーク船橋Ⅲ期

新築工事(電気・機械)

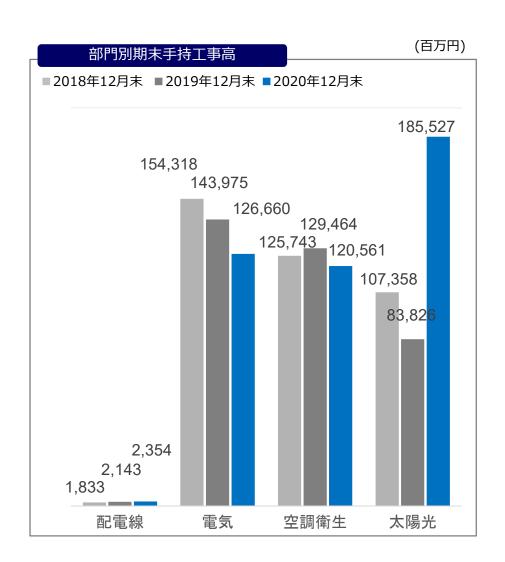
- ・ (仮称)イオンモール川口新築工事
- ・ イオンモール上尾新築工事
- ・ 福岡市第2期展示場等整備事業に係る設備業務
- ・ 日本通運グループ統合拠点計画
- ・ 第3給食センター整備運営事業





#### 期末手持工事高の状況 2020年12月末 〈設備工事業〉

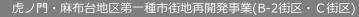




#### 主な受注案件(2020年12月末 手持工事)

- ・ (仮称)天神ビジネスセンター新築工事
- ・(旧)大名小学校跡地活用事業
- ・ (仮称)名城ビーチホテル新築工事
- ・ 七尾メガソーラー発電所工事
- · 波松風力発電所建設丁事
- ・ (仮称)渋谷区道玄坂二丁目開発計画
- ・虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業

(B-2街区・C街区) 他







# 2021年3月期 計画

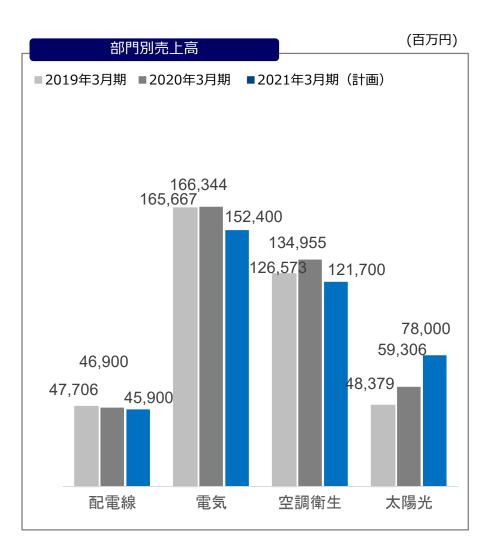


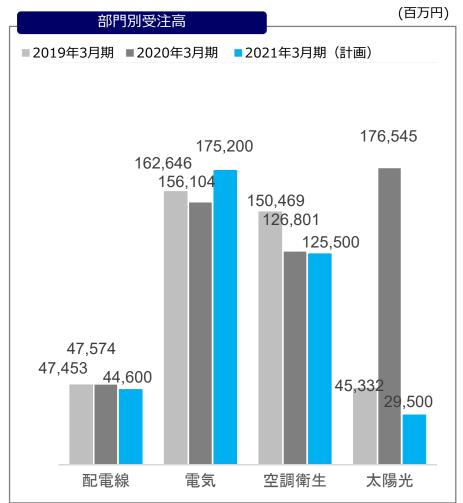
(百万円、下段は構成比)

	2020年3月期	2021年3月期	計画	
	実績	公表値	前年比	
売上高	428,939 (100.0%)	413,000 (100.0%)	96.3%	
売上総利益	60,093 (14.0%)	56,400 (13.7%)	93.9%	
営業利益	36,022 (8.4%)	32 <b>,</b> 000 (7.7%)	88.8%	
経常利益	38,643 (9.0%)	34 <b>,</b> 000 (8.2%)	88.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,245 (6.1%)	22 <b>,</b> 500 (5.4%)	85.7%	
一株当たり当期純利益	370.00円		317.59円	
配当金	100円 中間50円、期末50円	100F 中間50円、期末50		

#### 部門別受注・売上の計画 <設備工事業>

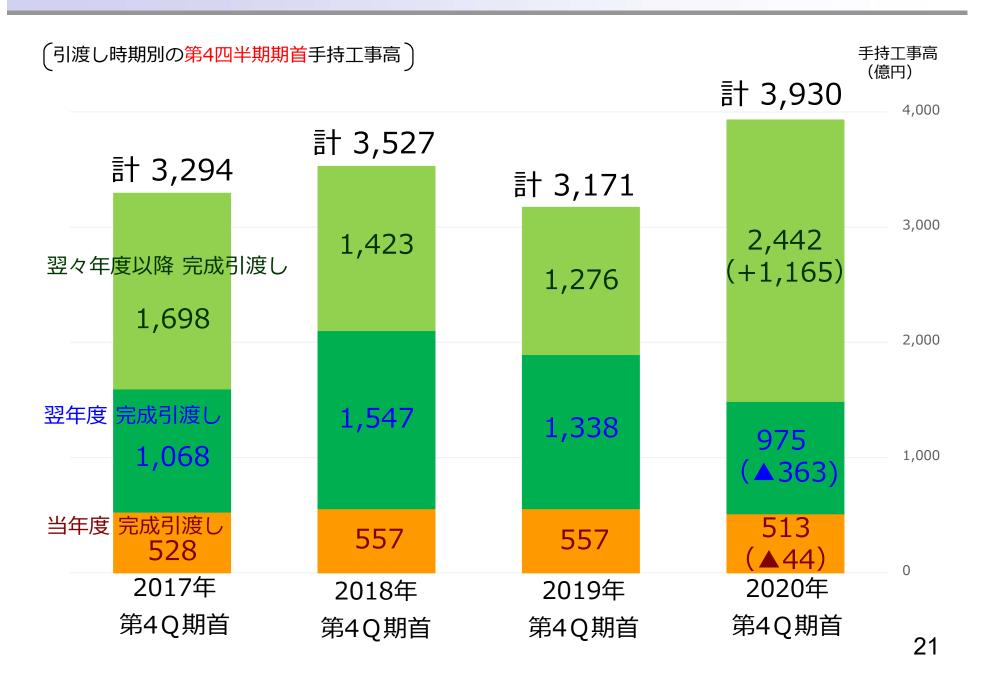






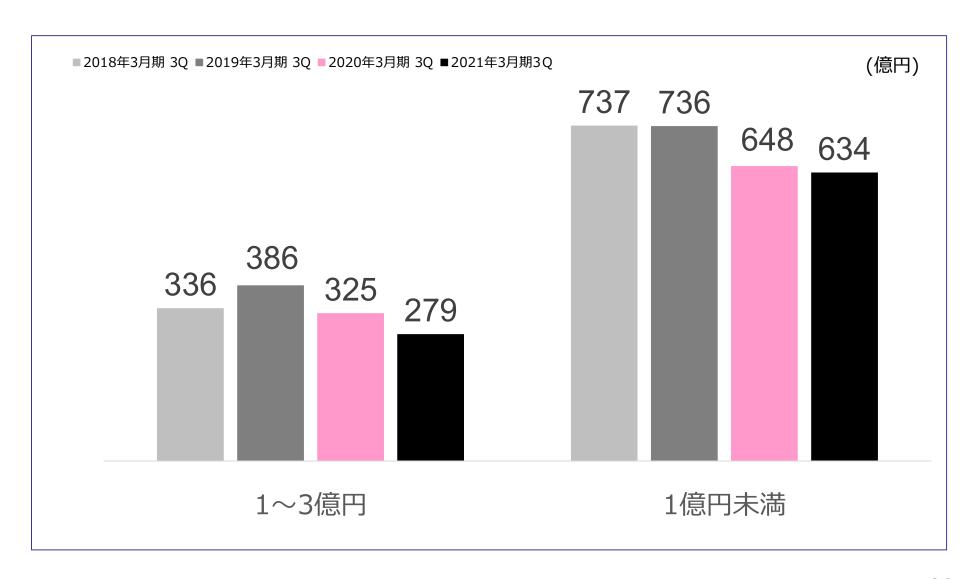
#### 手持工事高の分析 (九電工単体:配電線除く)





# 受注の工事規模別分析(九電工単体:配電線除く)



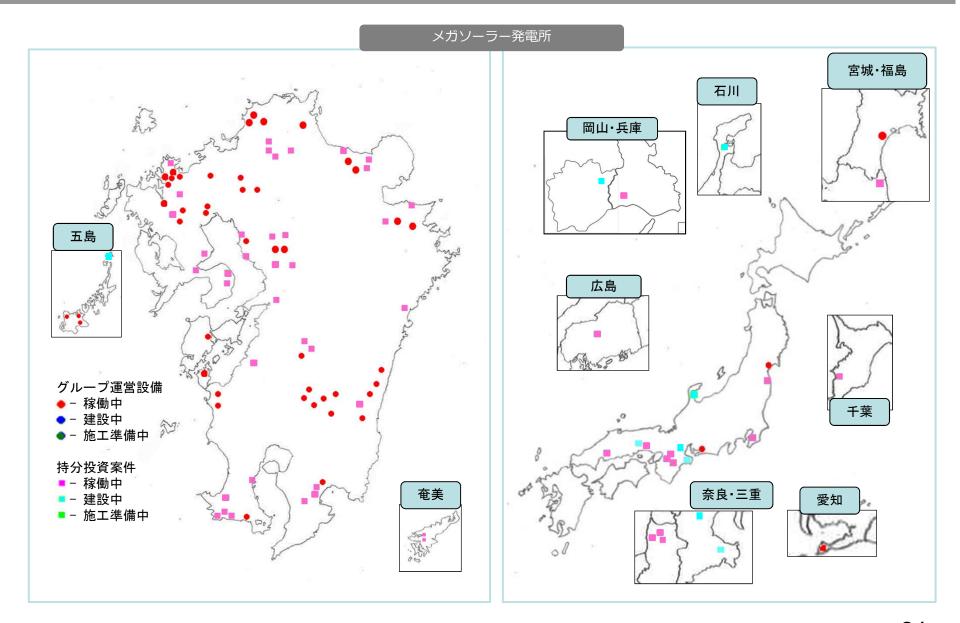




# 発電事業

## 発電事業への投資の状況(太陽光発電)





#### 発電事業への投資の状況(太陽光発電)



#### グループ運営案件

(設備投資を行い、

事業全体をその他事業売上高に計上)

定率法償却

	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼動	49	92MW	87MW
建設中	_	-	-
計画	_	-	-
合計	49	92MW	87MW

#### 持分出資案件

(投資有価証券の取得を行い、

持分相当を営業外収益に計上)

定額法償却

	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼動	49	540MW	150MW
建設中	5	687MW	141MW
計画	-	-	-
合計	54	1,227MW	291MW

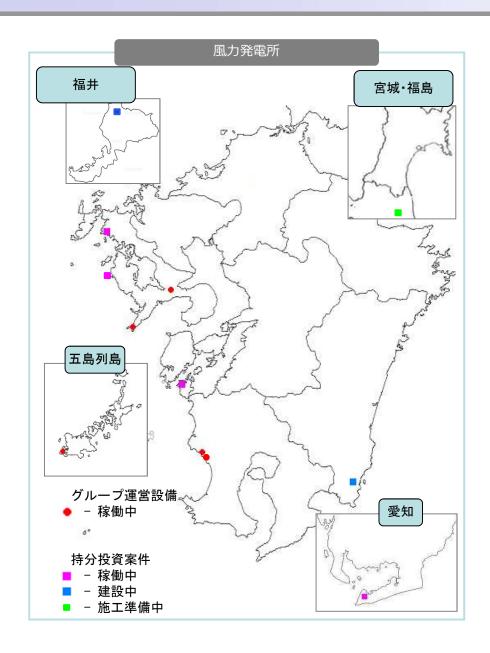
#### 【出力抑制について】

4月~12月に、九州電力による出力抑制は、累計42回発令された。(10月~12月:発令1回) 当社の発電所では、平均して12回の制御となった。

・影響 当社グループにおける逸失利益は350百万円程度である。

#### 発電事業への投資の状況 (風力発電)





#### グループ運営案件(設備投資を行い、事業全体をその他事業売上高に計上) 主に定率法償却

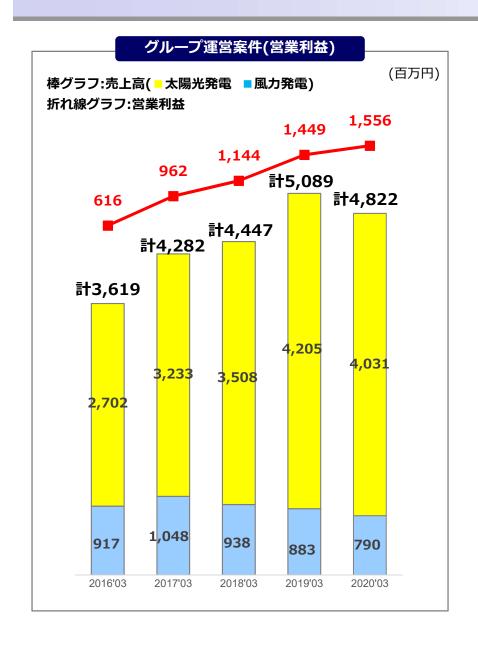
	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼動	5	38MW	38MW
建設中	_	-	-
計画	-	-	-
合計	5	38MW	38MW

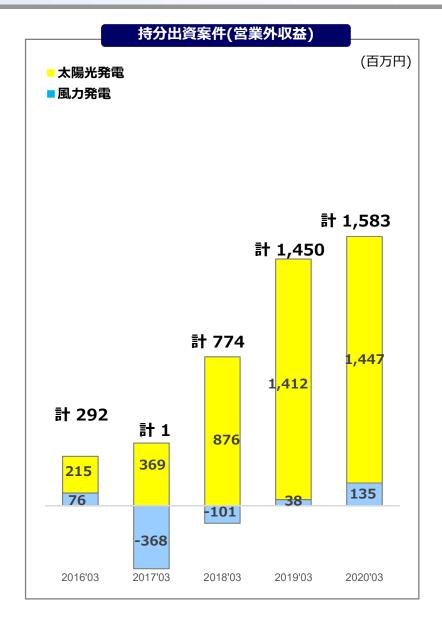
# 持分出資案件(投資有価証券の取得を行い、持分相当を営業外収益に計上) 主に定率法償却

	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼動	5	145MW	50MW
建設中	1	7MW	2MW
計画	1	15MW	3MW
合計	7	167MW	55MW

# 発電事業への投資の状況 2020年3月期 通期

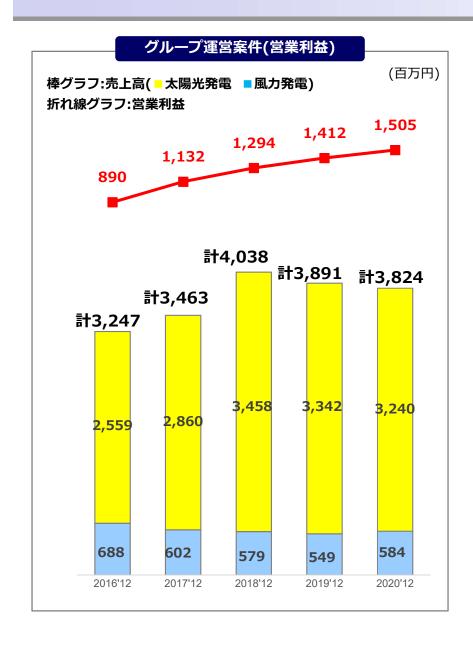


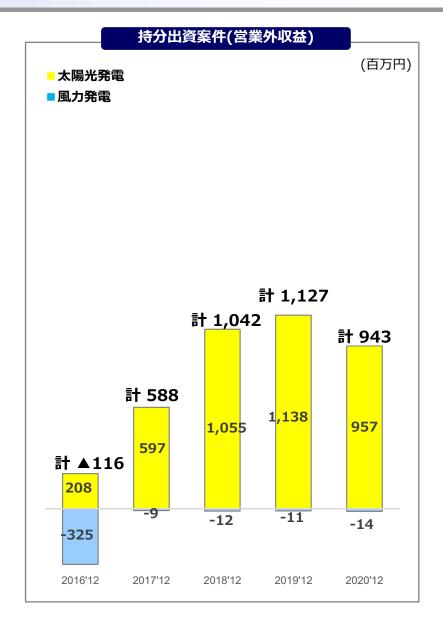




#### 発電事業への投資の状況 2021年3月期 第3四半期









# 中期経営計画

(2020年4月28日 公表)

- 新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大し、景気の下振れリスクが強まっておりますが、 現時点では当社グループ業績に及ぼす影響について、規模並びに期間の想定が困難なため、 本中期経営計画にその影響を反映しておりません。
- 今後の動向を注視し、必要に応じ本中期経営計画の見直しを行ってまいります。



#### メインテーマ

持続的な成長を実現するための経営基盤の確立 ~3つの改革の実現~

(売上高の内訳)

500 億円

3,340 億円

810 億円

350 億円

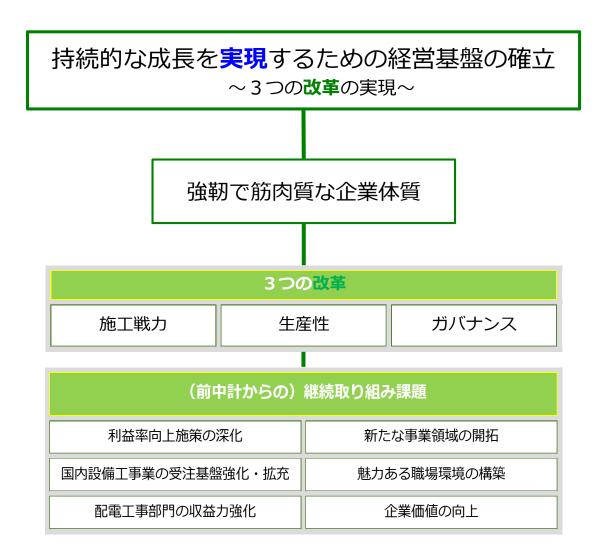
#### 数値目標(連結)

#### 最終年度(2024年度)

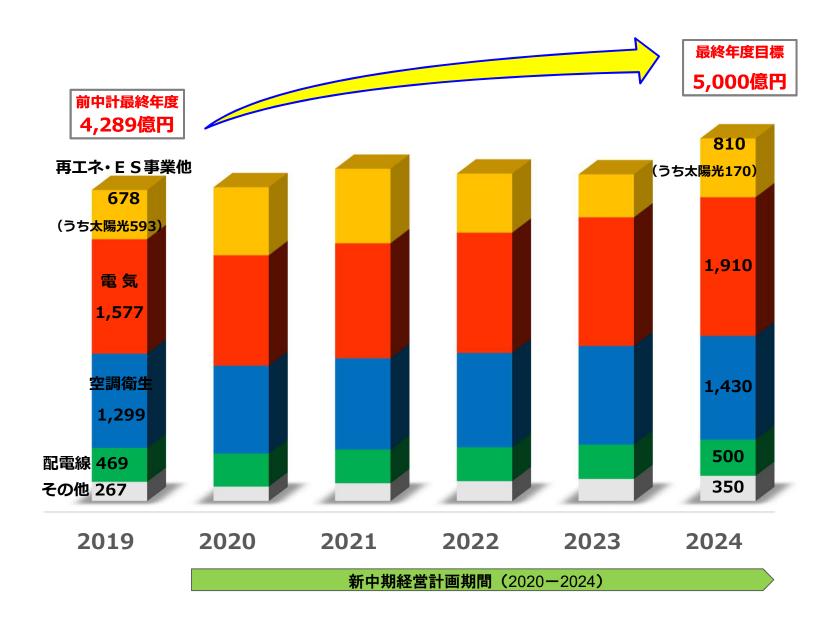
# 売 上 高 5,000 億円 配電線 経常利益率 500 億円 再エネ・ES事業他 その他

※企業の「資本効率性」をより正確に測る指標として、ROICを採用した。









# 新中期経営計画 (SDGsとの関連性)



中期経営計画に掲げる取り組みを着実に進め、事業活動を通じて、当社グループが行っている事業と 親和性の高いSDGsの実現に貢献していく。

#### 【SDGsの目標との関連性】

LODGSOYE	保との財建性』		
ESG	重要課題	中期経営計画における具体的取り組み	SDGs
環 境 (Environment)	1) 環境に配慮した まちづくりの推進	〇コンセッション・PPP/PFI事業への取り組み強化 (水道・ごみ処理場・空港/港湾・公共施設等への参画) 〇新たなビジネス領域の開拓 (不動産・農業再生等)	11 ***********************************
	2) 省エネ・創エネ技術の強化	○再生可能エネルギー発電事業の拡充 ○エネルギーサービス(ES)事業の拡大 ○九電工EMS事業(インドネシア)の強化	12 35 13 13 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15
	3) 施工品質および安全の確保	○配電線工事を通じた安定的な電力供給の維持 ○生産性の向上 ○先端技術及びITの研究開発促進(省力化・合理化の推進) ○重要災害の撲滅	3 161666 9 1110000 17 contact? → √√
社 会 (Social)	4) 安定した採用の継続と 人財育成の推進	<ul><li>○技術者採用の強化(採用の多様化)</li><li>○夢・達成感・自信に繋がる育成計画の再構築</li><li>○経営幹部・次世代リーダーの育成</li></ul>	4 REGIONS 8 REGION
	5) 働きがい・やりがいのある 職場環境の構築	○若手技術者の離職率抑制 ○働き方改革の徹底による休日確保と時間外作業の縮減 ○ダイバーシティの推進	3 ******* 5 ******* 8 ******  -√√ ♥ ▼  10 ************  ***************  ********
企業統治 (Governance)	6) コンプライアンス経営の 強化・実践	○不正行為撲滅に向けた再発防止策の確実な実行 ○九電エコーポレート・ガバナンスガイドラインに基づく ガバナンス体制の強化・徹底	16 ************************************

#### 人材の採用実績 (九電工単体) と要員計画



#### 《 技術・技能者 の定期採用人数実績》

	2007~ 2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
技術・技能 合計	200名程度	241	262	344	384	342	336名
高卒	150名程度	163	177	248	271	253	253名
大卒	50名程度	78	85	96	113	89	83名

#### « 2020年4月 採用実績の他社比較 »

	九電工	電気工事大手	空調工事大手	スーパ°ーセ゛ネコン
全職種 合計	356名	330~360	70~100	250~350
高卒	253名	200名程度	10名程度	10名程度
大卒	103名	100~160	70~100	250~320

#### « 2025年3月期までの期末要員数計画»

	(参考) 2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	計画中増減
電 気 部 門	2,274	2,340	2,475	2,599	2,750	2,893	約+550名
空 調 衛 生 部 門	1,138	1,192	1,269	1,355	1,435	1,517	約+320名
電気・空調衛生部門の期末要員数	3,411	3,532	3,744	3,954	4,185	4,410	約+870名
配 電 部 門	1,642	1,612	1,618	1,632	1,641	1,666	約+50名
そ の 他	1,446	1,417	1,407	1,402	1,397	1,408	
九電工単体従業員数	6,500	6,561	6,769	6,988	7,223	7,484	約+900名
グループ従業員数	10,018					12,000	約+2,000名

#### グループ従業員10,000名の内、約8,100名が技術者

(九電工)

(子会社)

+

技能工数

約 2,100

約 2,000

約 4,100

施工管理者数

約 3,000

約 1,000

約 4,000

=

## デジタルトランスフォーメーション(DX)



- ・グループのDX推進体制強化を目的に『DX推進部』を新設。(2020年10月1日)
- ・IT、IoT等の新技術開発に着手し、これによる生産性向上を図る。
- ・事業全体に新たなイノベーションを起こす。

## DXの推進

#### 仕事のあり方変革

#### 『職場レベルでデジタル化を推進』

- 現在の仕組みや業務を、最新の IT技術により効率化・自動化
- ITを活用し、現場と支店・本社を リアルタイムで繋ぎ、安全や工事 品質、施工管理等、様々な面にお いて情報の共有を実現
- 働き方改革

#### ≪主要取り組みテーマ≫

- ●既施工物件における設備内容等のデータベース化 およびAIの開発とその活用による設計変更の支援
- ●AI・IoT・BIMなどの新技術開発による生産性向上
- ●モバイル端末等の活用によるテレワーク推進・ 働き方改革の実践

#### 新たな ビジネスモデル創出

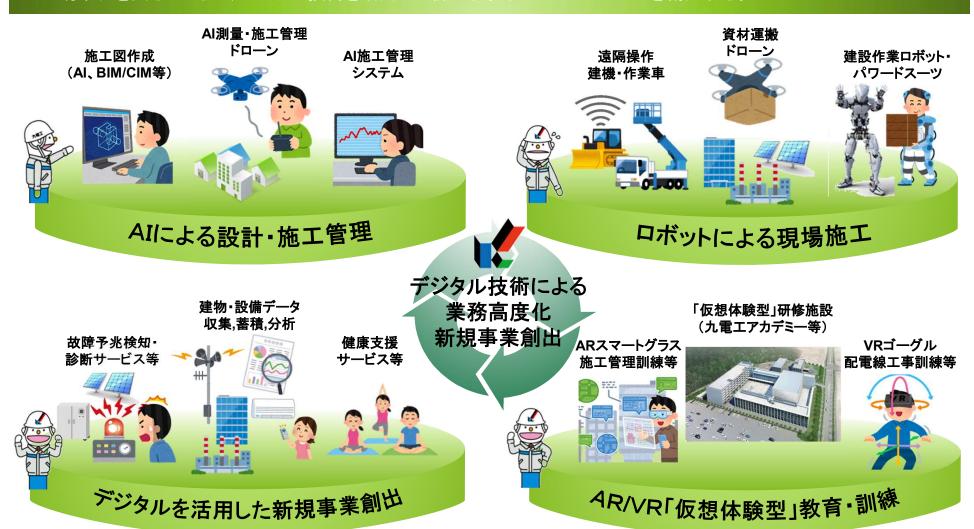
#### 『競争上の優位性を確立』

- 新規事業の創出
- ビジネスモデルの変革
- 高品質・高付加価値サービスの 提供による新ビジネスの確立

## デジタルトランスフォーメーション(DX) ~目指す先~



AI/IoT等の先端技術を導入し、設計・施工管理等の現場施工に関する業務や教育・訓練の高度化・省力化・効率化を図るとともに、デジタル技術を活用した新たな事業・ビジネスモデルを創出する。



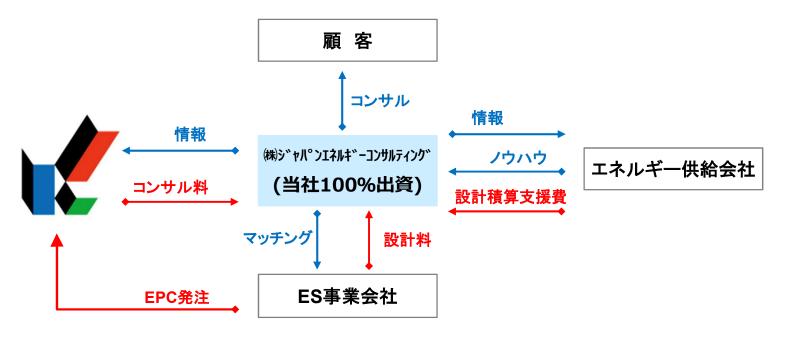
# エネルギーサービス事業(ES)



・中期経営計画に掲げる『ES事業』を展開するため、独立した専属子会社を設立

#### 新会社の概要・ES事業のスキーム

資本金	500万円	出資者	九電工 100%出資		
設立	2020年7月	事業開始	2020年8月1日		
事業エリア	日本全国				
社名	(株)ジャパンエネルギーコンサルティング				
業務内容	建物におけるエネルギー利用等の技術および運用ノウハウの提供並びにコンサルティング				



## エネルギーサービス事業(ES事業)~目指す先~



電気・水道・通信などの生活インフラの建設にとどまらず、スマートシティ等の快適なまちづくりや地域の公共サービスを提供する領域まで事業を拡げ、地域社会のエネルギーインフラ&サービスをトータルでサポートする企業へと進化する。

電気・空調・配電線 設備工事の追求



Step 1

地域エネルギー 設備企業

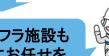
エネルギー設備は
九電工にお任せください

用排水処理・ゴミ処理 施設の建設



Step 2

地域ユーティリティ 施設企業



公共インフラ施設も九電工にお任せを



Step 3

地域まちづくり 企業



地域の街づくりも お手伝いします

地域のエネルギー供給や 公共サービスの提供



Step 4

地域トータル サービス企業



地域のことなら何でも 九電工にご相談ください

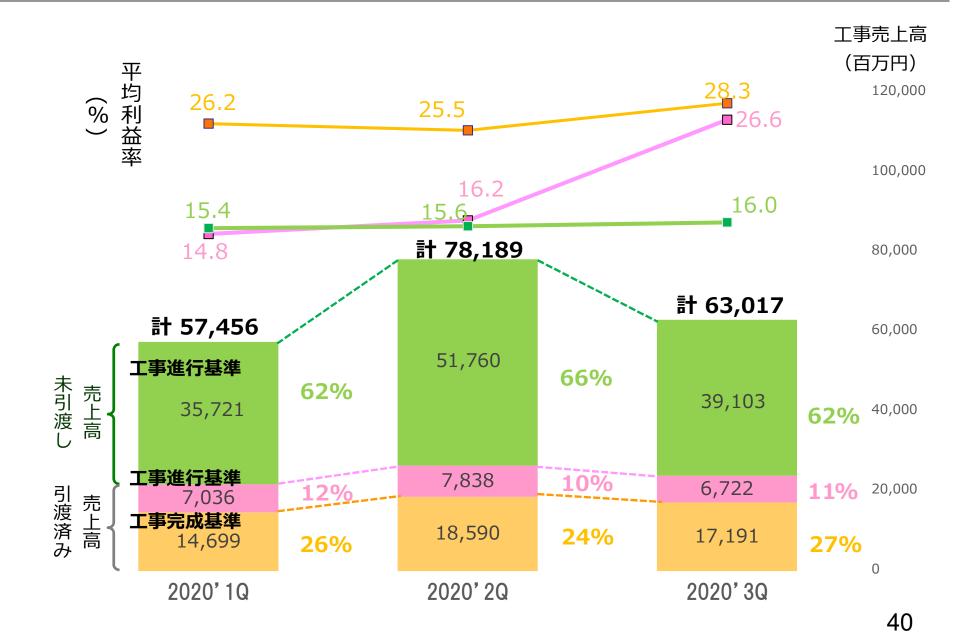




# **Appendix**

# 工事売上高・平均利益率の内訳 2021年3月期 四半期会計期間別 (九電工単体:配電線除く)



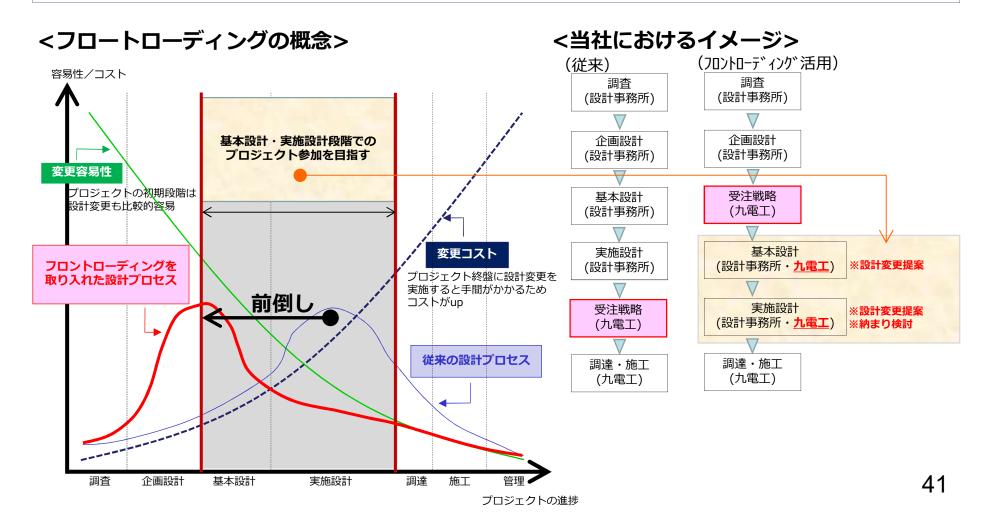


#### フロントローディングの取り組み



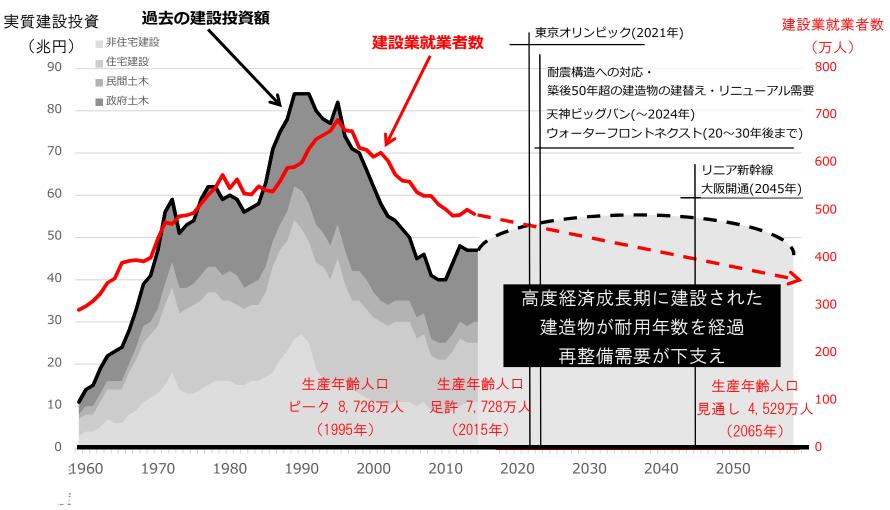
#### 設計段階から関わるメリット

- ・[設計時] 設計初期段階からの設計変更可能(有効な提案、コスト低減を見込むことができる)
- ・[契約時] コスト低減が加味された有利な内容での受注が可能
- ・[施工時] 現場担当者へのスムーズな引継ぎが可能



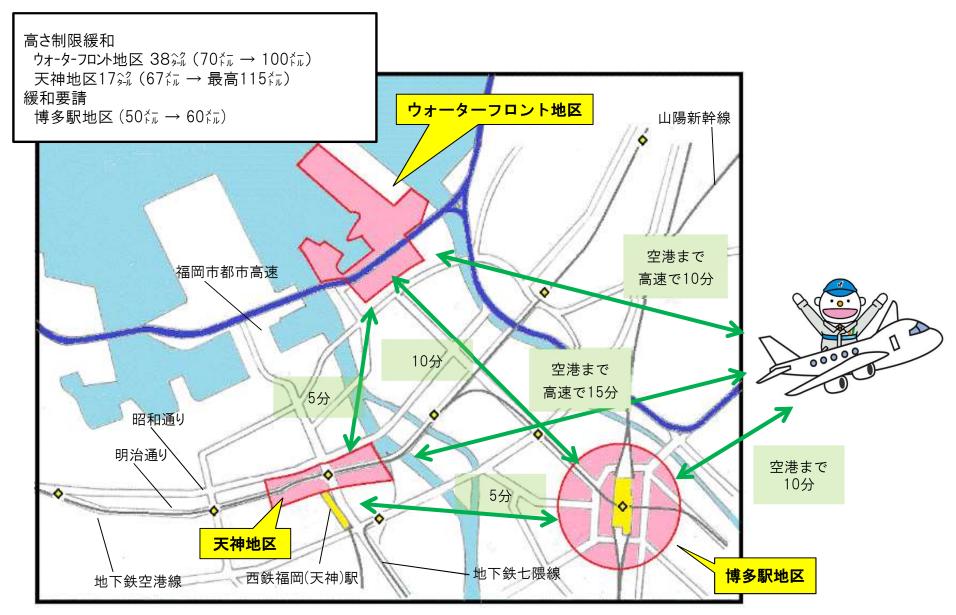


建設需要は、大型プロジェクトや建設後50年を超えるインフラの更新が下支え。生産年齢人口減少により人手不足が加速、供給力が急減。



#### 【位置関係】ウォーターフロントネクスト ・天神ビッグバン・博多コネクテッド





# 【プロジェクト内容】ウォーターフロントネクスト ・天神ビッグバン・博多コネクティッド



プロジェクト	目的	期間及び規模
①天神ビッグバン	<ul><li>・福岡の中心部である天神工 リアの再開発を進めること で、アジアの拠点都市とし ての役割・機能を高め、雇 用を創出</li></ul>	<ul><li>・2024年まで</li><li>・延床面積 75.7万㎡</li><li>・天神地区のビルの建替 (30棟)</li></ul>
②ウォーター フロントネクスト	・九州の海の玄関口である博 多港周辺の賑わいを創出 ・MICEやクルーズなどの需要 に対し、都市機能の向上	・今後10~20年 ・ <b>クルーズターミナル、</b> <b>MICE、商業施設、</b> ホテル
③博多コネクティッド	・九州の陸の玄関口である 博多駅の活力と賑わいを、 さらに周辺につなげていく	<ul><li>・2028年まで</li><li>・博多駅から半径</li><li>約500m、約80ha</li><li>・<b>博多駅周辺のビルの</b></li><li><b>建替(20棟)</b></li></ul>

# 多様なビジネスモデル それぞれの深堀り (設備工事業)



L**ジネスモデル 項目	(地域密着)	<b>B</b> サブコン型	② 資本参加型
① 特 徴	・中型・小型工事が中心 ・施主から直接受注・元請となる	<ul><li>・大型工事</li><li>・ゼネコンの下請(サブコン)</li></ul>	・異業種との協業のプロジェクト に資本参加し、工事を受注 ・工事利益+応分の事業利益
② 事業エリア	主として九州	関東・関西等都市部	
	M&Aにより関東・関西へ	福岡都市部 全国へ事業エリア拡大	全国展開
③ 売上高	案件ごとの売上高は小さい	案件ごとの売上高は大きい	案件ごとの売上高は大きい
<ul><li>4 利益率</li></ul>	比較的高い(施主から直接受注)	比較的低い(下請が主)	プロジェクト毎で異なる
⑤ 差別化戦略	九州、沖縄全域に110の営業所を 持つことで、技術者による地域密 着営業を展開	圧倒的な直営動員力	プロジェクトの企画段階から参加することで、工事を確実 に受注
⑥ ライバル	地元中小企業	全国大手同業各社	ゼネコン・デベロッパー
⑦ 構成比	約40%	約50%	約10%